

リウマチ・膠原病内科

(1)リウマチ・膠原病内科の目標:

我々の科としての理念は個々の患者さんの直面する問題を真剣に取り上げ、分析し、十分な説明と同意のもと、エビデンスに基づいた最善の治療を行う。

リウマチ膠原病は同じ診断名でも患者さんひとりひとりで病気の活動後が違い、侵される臓器の種類およびその障害の程度が違います。また、患者さんの社会的立場も違います。患者さんひとりひとりに対応したオーダーメイド医療を目指す。

患者さんのよきパートナーとなれるかが重要です。信頼できるパートナーとなれるよう努力いたします。「患者さんに問題点を見つけ、それを解決するために研究心をもって活動する」という原点のもと、臨床研究を実行する。

(2)リウマチ・膠原病内科の方針および展望:

地域の先生方と連携を密として、大阪北地域のリウマチ膠原病医療の核となれるよう努力する。これまで同様、京都大学臨床免疫学教室および神戸大学臨床病態免疫学講座との臨床検討会および臨床研究の推進。

患者さんひとりひとりに対応したオーダーメイド医療を目指す。特に、新しい治療法の個人適応には充分のエビデンスの検討とインフォームドコンセントを得る。

(3)リウマチ・膠原病内科の対象疾患

関節リウマチ/悪性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、血管炎症候群(結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、大動脈炎症候群、巨細胞性動脈炎など)、ベーチェット病、シェーグレン症候群、成人スチル病、リウマチ性多発筋痛症、などを対象としている。

(4)外来診療体制(平成 28年度)

当科の外来は予約診と初診・当日診の2診療制としている。受診者数は一日約50-90名であった。

(5)外来診療統計 (平成28年1月1日より平成28年12月31日)

外来受診者数(のべ数)18,324名、月平均 1,527名

初診者数 743名、月平均 62名、紹介率 87.9%

(6)入院診療実績 (平成28年1月1日より平成28年12月31日)

入院は主として全身性エリテマトーデス、関節リウマチをはじめとする膠原病に対して治療を行い、

H28年度入院患者数は 253名(延入院患者数 5,430人), 平均在院日数:20.6日

H27年度の主な入院は:

関節リウマチ 32名, 全身性エリテマトーデス 31名, 多発性筋炎・皮膚筋炎 24名, 強皮症 7名, 混合性結合組織病 5名, 顕微鏡的多発動脈炎 2名, 多発血管炎性肉芽腫症 6名, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 7名, 結節性多発性動脈炎 5名, IgA血管炎 1名, シェーグレン症候群 5名, ベーチェット病 1名, 大動脈炎症候群 4名, 巨細胞性動脈炎 2名, リウマチ性多発筋痛症 9名, 成人スチル病 2名, 反応性関節炎 1名, 不明熱 2名, 痛風1名, 再発性多発軟骨炎 2名, 血球貪食症候群 1名, など.

(7)教育

当院は日本リウマチ学会教育施設として認定されています。八木田および簗智は日本リウマチ学会専門医であり, 日常の診療, 定期的なカンファレンスを通じて研修医, 学生の教育を行っています。八木田は京都大学医学部および神戸大学医学部臨床教授であり, 京都大学および神戸大学医学部よりの教育研修を受け入れています。また, 地域合同勉強会を通じて, 内外の若手内科医の教育や臨床免疫学の啓蒙を行っています。

(8)リウマチ膠原病教室の開催

平成18年度よりリウマチ膠原病教室を開催し, リウマチ膠原病疾患およびその治療に関する基礎的および最新の情報を患者さんに伝える機会を持っているが, H28年度リウマチ膠原病教室は残念ながら開催できなかった。

(9)院外活動および地域医療との係わり:

- ①地区医師会(大阪府医師会, 北区, 淀川区等)との合同勉強会, CPCを通じて, 病診連携の推進している。
- ②八木田は阪神合同CPCの事務局を勤めている。
- ③大阪バイオロジックフォーラムを2007年より開催し, 生物製剤への理解を深める機会を作っている。H28年度はH29年2月4日に第10回大阪バイオロジックフォーラムを開催した。

(10)スタッフ H28年度

部長 八木田 正人

医学博士

日本内科学会認定医・指導医, 日本リウマチ学会専門医・指導医

日本血液学会専門医・指導医, 日本リウマチ財団登録医

専門:臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患), 臨床血液学

副部長 簀智 さおり

医学博士

日本内科学会認定医, 日本内科学会総合内科専門医

日本リウマチ学会専門医・指導医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

副部長 藤田 昌昭

医学博士

日本内科学会認定医, 日本リウマチ学会専門医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

レジデント 八木田 麻裕

日本内科学会認定医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

レジデント 中野 友美子

日本内科学会認定医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

レジデント 内藤 遼太

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

レジデント 水野 裕美子

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

外来応援医師 辻本 考平

日本内科学会認定医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

外来応援医師 岡崎 瑞江

日本内科学会認定医、日本リウマチ学会専門医、日本腎臓学会専門医

専門: 臨床免疫学(リウマチ・膠原病疾患)

(11) 研究課題 H28 年度

1 インテグリン制御による新規抗リウマチ薬・抗炎症薬の開発

(藤田昌昭)

2 生物学的製剤使用関節リウマチ患者の長期安全性研究(SECURE 研究)

--- 多施設共同研究

(簀智さおり, 八木田正人)

3 自己免疫性疾患に合併した感染症における可溶性CD14 subtype(プレセプシン)測定の有用性

(水野裕美子, 辻本考平, 八木田正人)

4 全身性エリテマトーデス(SLE)の病勢把握における可溶性CD14 subtype(プレセプシン)測定の意義

(辻本考平, 八木田正人)

5 関節リウマチにおけるMTX 関連リンパ増殖疾患発症予測因子の同定

--- 多施設共同研究

(八木田正人, 旗智さおり)

6 関節リウマチにおけるゲノム解析に基づく個別化医療の有用性検討

--- 多施設共同研究

(旗智さおり, 八木田正人)

(12) H28年度業績

学会発表

Kohei Tsujimoto, Yumiko Nakano, Mayu Yagita, Masashi Taniguchi, Iku Shirasugi, Yutaka Shinkawa, Saori Hatachi, Masaaki Fujita, and Masato Yagita, Presepsin (sCD14 subtype) concentration is elevated and reflects disease activity in systemic lupus erythematosus. In International Concurrent Workshop, The 60th Annual general Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology (Yokohama), April 23, 2016

Kohei Tsujimoto, Yumiko Nakano, Mayu Yagita, Masashi Taniguchi, Iku Shirasugi, Yutaka Shinkawa, Masaaki Fujita, Saori Hatachi, and Masato Yagita, Presepsin (sCD14 subtype) and procalcitonin as biomarker of systemic bacterial infection in patients with rheumatoid arthritis. In International Concurrent Workshop, The 60th Annual general Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology (Yokohama), April 21, 2016.

藤田 昌昭、八木田正人. Monomeric CRP によるインテグリンを介した白血球の活性化.
第60 回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜)2016年4月21日

新川雄高、中野友美子、八木田麻裕、辻本孝平、白杉郁、谷口雅司、藤田昌昭、旗智さおり、八木田正人. ANCA関連血管炎に悪性腫瘍を合併した症例の検討.
第60 回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜)2016年4月21日

谷口雅司、中野友美子、八木田麻裕、辻本孝平、新川雄高、白杉郁、岡崎瑞江、藤田昌昭、旗智さおり、八木田正人. 当院SLE患者におけるミコフェノール酸モフェテル(MMF)使用の安全性と有効性の検討.
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜)2016年4月22日

八木田麻裕、白杉郁、辻 英輝、中島 蘭、三森経世、旗智さおり、八木田正人. 抗MDA5抗体陽性の皮膚筋炎に対して血漿交換が有効であった一例.
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜)2016年4月22日

白杉郁、八木田麻裕、中野友美子、辻本孝平、谷口雅司、新川雄高、旗智さおり、八木田正人. 心臓原発悪性リンパ腫中枢再発を合併した皮膚筋炎の一例.

第60 回日本リウマチ学会総会・学術集会(横浜)2016年4月23日.

中野友美子、八木田麻裕、辻本考平、白杉郁、新川雄高、谷口雅司、藤田昌昭、籾智さおり、八木田正人. メトロニダゾールが有効であった強皮症による偽性腸管閉塞症の一例. 第211回日本内科学会近畿地方会(京都) 2016年3月26日

論文発表

Takada Y, Fujita M. Secreted phospholipase A2 type IIA (sPLA2-IIA) activates integrins in an allosteric manner. *Adv Exp Med Biol.* 2016 Nov 19. [Epub ahead of print]

Fujita M, Tabuchi Y, Yagita M. Successful treatment of refractory giant cell arteritis with etanercept. *Rheumatol Int.* 2016 Aug;36(8):1177-9.

Tsujimoto K, Hata A, Fujita M, Hatachi S, Yagita M. Presepsin and procalcitonin as biomarkers of systemic bacterial infection in patients with rheumatoid arthritis. *Int J Rheum Dis.* 2016 Jun 13. [Epub ahead of print]

Shinkawa Y, Yagita M, Fujita M. Myocarditis in Mixed Connective Tissue Disease: A Case Report. *J Clin Case Rep* 2016, 6: 679

Yagita M, Tsujimoto K, Yagita M, Fujita M. Atypical Presenting Symptoms of Acute Onset Systemic Lupus Erythematosus with Enteritis and Cystitis. *Case Rep Med.* 2016;2016:8579812.

Tsujimoto K, Yagita M, Taniguchi M, Fujita M. Successful Use of Plasma Exchange in the Treatment of Corticosteroid-Refractory Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis Associated with Gastrointestinal Manifestations. *Case Reports Immunol.* 2016;2016:8341751.

Yagita M, Hamano T, Hatachi S, Fujita M. Peripheral neuropathies during biologic therapies. *Mod Rheumatol.* 2016;26(2):288-93.

Takada Y, Takada YK, Fujita M. Crosstalk between insulin-like growth factor (IGF) receptor and integrins through direct integrin binding to IGF1. *Cytokine Growth Factor Rev.* 2017 S1359-6101:30140-X.

Fujita M, Nakano Y, Yagita M. Successful treatment of prokinetic-resistant intestinal pseudo-obstruction and pneumatosis cystoides intestinalis in systemic sclerosis with metronidazole. *Rheumatol Int.* 2017 Feb 17 doi: 10.1007/s00296-017-3668-7.

Takashima R, Takamatsu K, Shinkawa Y, Yagita M, Fukui M, Fujita M. Dermatomyositis associated with lung neuroendocrine carcinoma. *Intern Med* 2017;56: 719-724.